



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

滋賀県は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



Mother Lake
Goals



しがCO₂ネットゼロ
ムーブメント

令和4年度プラスチックごみゼロ・ 食品ロス削減・3R取組事例集

令和5年(2023年)1月
滋賀県



目次



プラスチックごみ/食品ロス/3R 現状と課題	1
------------------------	---

プラスチックごみ削減の取組紹介

vol. 1 KARASUMA TAKEOUT CAFÉ REED	2
vol. 2 株式会社 滋賀銀行	3
vol. 3 びわ湖大津プリンスホテル	4
vol. 4 長浜キャノン株式会社	5
vol. 5 株式会社 叶 匠寿庵	6
vol. 6 淀川ヒューテック株式会社 滋賀工場	7
vol. 7 旭化成住工株式会社 滋賀工場	8
vol. 8 株式会社エコパレット滋賀	9
vol. 9 琵琶湖ホテル	10
vol. 10 三光合成株式会社 滋賀工場	11

食品ロス削減の取組紹介

vol. 1 DELI&café 一汁三菜	12
vol. 2 株式会社 西村食品	13
vol. 3 株式会社 ゾーンプラス(ecoeat 大津瀬田店)	14
vol. 4 株式会社 セブン-イレブン・ジャパン	15
vol. 5 一般社団法人 フードバンクびわ湖	16
vol. 6 有限会社 丸二果実店	17
vol. 7 Orpo	18
vol. 8 プティボヌール	19
Vol. 9 琵琶湖ホテル	20

3R（循環資源の再利用・再生利用等）の取組紹介

vol. 1 株式会社 アースクリエーション	21
vol. 2 田中建材株式会社	22
vol. 3 株式会社 山崎砂利商店	23
vol. 4 三和産業株式会社	24
vol. 5 株式会社 水口テクノス	25
vol. 6 株式会社 彦根麦酒	26

令和3年度「滋賀県食品ロス削減優良取組表彰」受賞者紹介

◆株式会社 平和堂	27
◆国立大学法人 滋賀大学 経済学部 地域連携教育推進室	28
◆有限会社 丸二果実店	29

3Rで目指す社会



滋賀県では、令和元年8月、事業者、県民団体、行政を構成員とする「滋賀県買い物ごみ・食品ロス削減推進協議会」と県との連名で、「滋賀県プラスチックごみゼロ・食品ロス削減宣言」を行い、ごみを出さないライフスタイルへの転換を目指して、これまでの取組を生かしつつ、より一層3R(リデュース、リユース、リサイクル)の取組を推進することとしました。リデュースはごみの発生そのものを抑制すること、リユースは何度も繰り返し使用すること、リサイクルは再び原材料として利用することです。

3Rの取組の推進を通じて、温室効果ガスを削減しCO₂ネットゼロに寄与するとともに、大量生産・大量消費・大量廃棄の経済社会システムを見直し、循環型社会の形成を目指します。

※宣言の詳細は、滋賀県ホームページをご覧ください。▶



プラスチックごみ削減に向けた取組の状況

世界では、プラスチックごみが河川等を通じて内陸から海へ流れ込み、生態系を含めた環境の悪化をもたらしており、大きな課題となっています。さらには、近年、マイクロプラスチックによる環境への影響についても懸念されています。

こうした中、国は、プラスチックのライフサイクルに関わるあらゆる主体におけるプラスチックの資源循環の取組を促進することを目的に、令和4年4月に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」を施行しました。

県では、令和3年3月に県民や事業者等のプラスチックごみ削減の手引きとなる「滋賀プラスチックごみゼロに向けた実践取組のための指針」を策定し、ごみを出さないライフスタイルへの転換を目指して、県民、事業者、団体、行政等がそれぞれ役割を分担し、互いに連携・協力しながら、プラスチックごみゼロに向けた取組を推進しています。

※ [滋賀プラスチックごみゼロに向けた実践取組のための指針](#) の詳細は、裏表紙参照



食品ロス削減に向けた取組の状況

我が国では、まだ食べることができる食品が日常的に廃棄され、大量の食品ロスが発生しています。日本の食料自給率は低く、食料の多くを海外からの輸入に依存する中、世界では深刻な飢えや栄養不良で苦しむ多くの人々が存在しており、食品ロスの削減は真摯に取り組むべき課題です。

滋賀県では、事業者、関係団体、学識経験者、国・県・市町等が連携協力を図りながら、近江商人が大切にしてきた「三方よし」の精神をもとに「三方よし!!でフードエコプロジェクト」を立ち上げ食品ロス削減に向けた取組を推進してきました。一方、国においても令和元年5月に「食品ロス削減の推進に関する法律」を制定し、食品ロスの削減を「国民運動」として位置付けるなど、削減の機運はますます高まっています。

こうした状況を踏まえ、県は令和3年3月に食品ロス削減の取組を具体化した「滋賀県食品ロス削減推進計画」を策定し、より一層取組を推進しています。

※ [滋賀県食品ロス削減推進計画](#) の詳細は、裏表紙参照



本冊子では、県内においてプラスチックごみや食品ロス削減を始めとする3Rの取組を積極的に行われている事業所や施設・店舗、団体等の取組事例を紹介します。

プラスチックごみを減らそう!

プラスチックごみ削減の取組紹介

vol.1

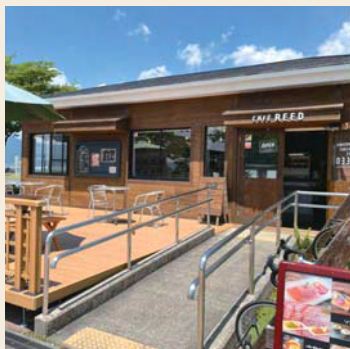
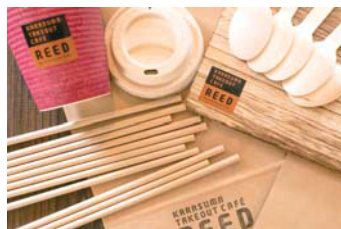


脱プラスチックカフェ

コロナ禍で需要の増えたテイクアウトによる使い捨てプラスチックごみを減らす取り組みとして、お客様に提供する物をすべて脱プラスチック製品、紙製、木製にする事で、身近な琵琶湖の環境そして海洋ごみ問題の解決に繋がるよう、事業を通じて活動しております。

まずはお客様に、脱プラスチック製品を利用しプラスチック製品との違いを体感していただくことで、プラスチックごみの問題に関心を持っていただきたいと考えております。また、プラスチック製品よりもコストのかかる紙製品を利用し運営していける事業モデルとして、他店舗様、企業様に環境問題への取り組みの選択肢となればと考えております。

KARASUMATAKEOUTCAFÉ REED (草津市)



株式会社 クラスタ

住所: 滋賀県草津市下物町1091-161 TEL: 077-599-1267 FAX: 077-599-1268
HP: <https://www.cluster.co.jp> 設立: 2006年4月
業種: アパレル、イベント用品の通信販売、脱プラカフェREEDの運営

株式会社クラスタでは、主にインターネット通販やアパレル、ネット関係での仕事をして参りました。

新たにCAFÉ REEDを運営するにあたって、以前より社会的意義のある事したい思いを形にする場にしたと考え、環境に優しい脱プラスチック製品を使用したカフェにいたしました。プラスチックごみが多く出るテイクアウト商品を一切プラスチック製品を使用しない事で、プラスチックごみを減らし、利用されたお客様がプラスチックごみの問題に関心を少しでも持っていただければと考えて努力しております。また脱プラスチックはコストがかさむため、しっかりした売上をあげることで事業として成り立つ事を示したいと考えております。



代表取締役
丸本 篤さん

滋賀県のプラスチックごみ削減の取組等に関するお問い合わせ

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 TEL: 077-528-3477 FAX: 077-528-4845



プラスチックごみを減らそう!



株式会社 滋賀銀行 (大津市)

プラスチック製品から代替品の使用へ切り替え

自動販売機を脱PETに!

クリアファイルを「紙」に!

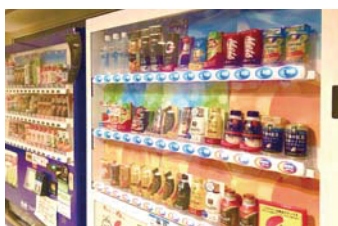
「しがぎんグループでは、プラスチックごみを減らすためのさまざまな取り組みを行っています。今回はその中から2つの取り組みをご紹介します。

① 自販機からペットボトル飲料を

撤去

本店敷地内に設置しているすべての自動販売機から、ペットボトル飲料(水を除く)を撤去し、紙パックや缶飲料へ切り替えました。

また、職員にはマイボトルの使用を推奨しており、プラスチックごみを極力出さない生活習慣づくりを促しています。



② クリアファイルを

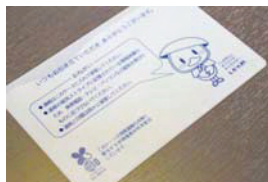
紙製ファイルに切り替え

お客さまにパンフレットなどをまとめてお渡しする際、従来はクリアファイルに入れていましたが、プラスチックごみを減らすため、紙製のファイルに切り替えました。お客さまのプラスチックごみに対する意識を高めることにもつながっています。

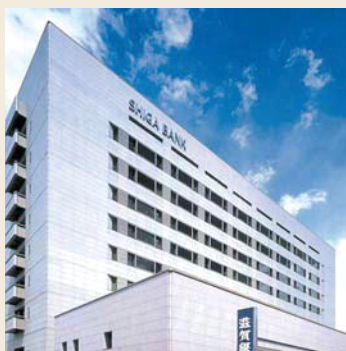
これからもプラスチックごみ削減に努め、地域の皆さまとともに、資源循環型の持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。



紙製クリアファイル



バイオマス素材を配合した通帳ケース



株式会社 滋賀銀行

住所: 滋賀県大津市浜町1番38号 TEL:077-521-2207 FAX:077-521-2890
 HP: <https://www.shigagin.com> 設立: 1933年10月1日 資本金: 330億円
 業種: 普通銀行業務(預金、貸出、内国外国為替、証券、信託、その他付随業務)、
 コンサルティング業務

滋賀銀行は、2017年に地方銀行で初めてのSDGs宣言を発表し、持続可能な社会の実現に向けてさまざまな取り組みを行っています。
 ご紹介したほかにも、ビニール袋を廃止したり、通帳ケースにバイオマス素材を導入したり、順次見直しを行っています。取り組みは「CSRレポート」にも掲載していますのでぜひご覧ください。

URL: <https://www.shigagin.com/csr/report/>



「CSRレポート」
ページ



総合企画部
サステナブル戦略室
サステナブル推進グループ
村田 花穂 さん



滋賀県のプラスチックごみ削減の取組等に関するお問い合わせ

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845



びわ湖大津プリンスホテル（大津市）

マイボトル作りワークショップイベントの開催

びわ湖大津プリンスホテルでは、夏休みなどの期間に「子ども応援プロジェクト」の一環として、お気に入りの写真や好きな絵を紙に描いてボトルに差し込む「マイボトル作りワークショップ」を開催しております。旅の記念となる思い出作りや、学校の課題提出などにご利用いただけるだけでなく、完成した自分だけのオリジナルボトルを持ち歩いていただき、繰り返しお使いいただくことで、プラスチックごみの削減に貢献できるよう努めております。



また同時に、大津市企業局と連携して水道水講座を実施したり、びわ湖についての理解を深めることができる環境学習DVDを制作したりするなど、親子で環境について考えていただくためのきっかけ作りにも取り組んでおります。

その他にもグループ全体として、レストラン・宴会場におけるプラスチックストローの使用廃止（ストローのご希望があった場合には紙製のストローを提供）や、プラスチック製買い物袋を有料化し、その売上金を自治体に寄付することで、環境保全活動や社会貢献活動に活用していただくなどの取り組みを実施しております。



びわ湖大津プリンスホテル（株式会社プリンスホテル）

住所：滋賀県大津市におの浜4-7-7 TEL:077-521-1111 FAX:077-521-1110
 HP: <https://www.princehotels.co.jp/otsu/>
 設立：1956年6月4日（株式会社プリンスホテル）
 資本金：86億円（株式会社プリンスホテル）
 業種：ホテル・レジャー施設の運営

びわ湖大津プリンスホテルでは、西武グループのグループビジョンの一つである「常に、自然環境、地球環境への配慮を忘れません」という宣言に基づき、持続的な成長に向けて『環境保全』に努め、さまざまな取り組みを進めております。ご紹介した「プラスチックごみ削減」以外にも、「食品ロス削減のための啓発活動」や「地域活性化のための活動」など、今後も様々な環境保全活動に取り組んでまいります。



事業戦略 マネージャー
滝本 修平 さん

滋賀県のプラスチックごみ削減の取組等に関するお問い合わせ

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845





長浜キヤノン株式会社（長浜市）

プラスチック材料の再利用化と排出抑制

弊社ではオフィスや家庭で使用されるレーザービームプリンターやトナーカートリッジを生産しております。製品に使用する材料のリサイクルを推進することで環境負荷低減につなげています。



LBPプリンター



トナーカートリッジ

【生産工程のリサイクル】



プラスチックを粉碎したペレット

部品を生産する過程で発生する成形品のプラスチック端材を粉碎し、新品の原材料とブレンドすることでプラスチックごみの削減を行っています。さらに対象品をシートなどにも拡大しリサイクル率の向上に努めています。また、技術的な検討を

重ねることで、成形品の生産開始時や再稼働時に発生する捨てシヨット（品質が安定するまでの成形品）が発生する量を最少化しています。

【排出物のリサイクル】

生産活動による排出物を最大限リサイクルするため、排出物を77種類に分別しています。その中でもプラスチック類は、排出先の取引先様と排出物の種類や色、荷姿などを詳細に打合せすることで、より詳細な分別を行い、リサイクル率を上げることができました。また、社員一人ひとりにリサイクルの重要性を周知し認識してもらったことで、多種の分別を実現することができています。



排出物の分別

長浜キヤノン株式会社

住所: 滋賀県長浜市国友町1280
TEL: 0749-64-2111 (代) FAX: 0749-65-3743
HP: <https://nagahama.canon>
設立: 1988年9月16日
資本金: 8,000万円 (キヤノン株式会社100%出資)
業種: プリンター本体などの周辺機器事業
トナーカートリッジ・感光ドラムなどの化成品事業

キヤノングループでは、事業活動に伴い発生するプラスチックなど廃棄物の発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再資源化(リサイクル)を積極的に推進しています。弊社もプリンターやカートリッジを生産する工場として、さらなる削減活動を推進し、「プラスチックごみゼロ」の達成に貢献してまいります。



人事部長
横山 智弘さん





株式会社 叶匠寿庵 (大津市)

新容器導入でプラスチック使用量82%削減

株式会社 叶匠寿庵(本社・滋賀県大津市、代表取締役社長：芝田冬樹)では、プラスチック削減を目的に、「水羊羹」を始めとした水菓子の容器包装資材を昨夏リニューアルしました。

水菓子は、年間250万個を売り上げる人気商品で、従来は竹を模したプラスチックカップを使用し、涼感のある佇まいからお客様に好評をいただいていた。しかし近年の社会問題である温室効果ガス削減の重要性やプラスチックごみ削減の観点から、包装資材製造時における樹脂量を削減した新容器を開発しました。



従来のプラスチックカップ



樹脂量を削減した新容器

日本古来の麻の葉文様デザインの新容器の導入により、従来の涼感のある佇まいもそのままに、原料である樹脂量を1個あたり28gから5gへと従来比82%の減量を達成しました。また重ねて保管できる形状であることから、輸送の頻度を10分の1へと減らすことができ、これにより樹脂製造時と輸送時のガソリンが発生させるCO₂排出量を1個あたり32.5g、250万個あたり81.25トンの削減を見込んでいます。



株式会社 叶匠寿庵

住所：滋賀県大津市龍門四丁目2-1
TEL：077-546-3477 FAX：077-546-3480 HP：<https://kanou.com/>
設立：昭和33年9月(1958年) 資本金：7980万円
業種：・和菓子の製造・販売
・茶室、茶事(懐石料理と茶席)
・一般飲食事業(喫茶・甘味処)

当社の水羊羹の容器は、本物の竹のように容器に厚みがあり、見た目にも喜ばれていたため、変更することは勇気がいることでした。しかし、環境への配慮を優先。また単にプラスチックの使用量を減らすだけではなく、氷の結晶から着想した日本の古典柄「麻の葉」をモチーフとし、デザインにもこだわりました。



秘書広報課 課長
池田 典子 さん

滋賀県のプラスチックごみ削減の取組等に関するお問い合わせ

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845





淀川ヒューテック株式会社 滋賀工場 (甲賀市)

リサイクル原料の徹底分別とその利用価値の向上

弊社は、ヨドフロン®の商標で、フッ素樹脂素材及び射出製品などを製造販売するメーカーです。フッ素樹脂の利用範囲は広く、弊社は主に半導体製造装置の部品及びリチウムイオン電池の部品を製造しています。

製造工程の中では、切削加工切子や打ち抜き端材等の廃棄物が出ます。通常は加工速度を上げるため、切削油などを使用しますが、その場合、切子などの廃棄物に油が付着して、リサイクルしにくくなります。

そこで、弊社は加工方法に工夫して、切削油を使用しない方法を採用し、100%リサイクルを目指して廃棄物を再生利用する活動をしています。また、PFAやPTFE等何種類かあるフッ素樹脂の製造後の廃棄物については、削減に取り組みつつ、徹底分別を行い、種別リサイクルに取り組んでいます。

100%リサイクルを目指しての廃棄物の再生利用



切削加工切子



打ち抜き端材



淀川ヒューテック株式会社 滋賀工場

住所: 滋賀県甲賀市水口町さつきが丘20
TEL: 0748-62-9900 FAX: 0748-62-9594
HP: <https://www.yodogawa.co.jp> 設立: 1964年7月7日
資本金: 5000万円 業種: フッ素樹脂素材・製品の製造販売

弊社は、滋賀県に工場を構えて31年。全社員の1/4、200名強(関連企業含む)の社員が滋賀県で生活しています。滋賀の地域発展のため少しでもお役に立てればと考えています。我々が使用しますフッ素樹脂原料はどうしても、製造過程で製品として使用できない部分が発生します。その部分も廃棄して、環境汚染の要因にならないよう、他の用途として利用できる100%リサイクルを目指し活動して行きます。



滋賀工場 工場長
鈴木 淳久さん



滋賀県のプラスチックごみ削減の取組等に関するお問い合わせ

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845



スタイロフォームの減容化

旭化成住工株式会社 滋賀工場 (東近江市)

HEBELHAUS(ヘーベルハウス)の天井断熱材として使用している、発泡プラスチック系の一種であるスタイロフォームは、お客様のオーダーごとに原版からカットし、その端材は年間約4tを廃プラスチックとして産廃処理していました。

そこで、廃プラスチックの排出削減を目的として、スタイロフォームの端材を加熱・成形し、インゴット(塊)化する減容化設備を導入しました。

これにより従来は産廃処理していた端材を、設備導入後は有価物として再資源化することが出来ました。



インゴット(塊)化した端材



減容化設備への端材の投入



旭化成住工株式会社 滋賀工場

住所: 滋賀県東近江市湯屋町1番地
TEL: 0749-29-9007 FAX: 0749-45-3298
HP: <https://www.asahi-kasei.co.jp/jyukou/index.htm/>

設立: 昭和38年12月26日 資本金: 28億2,000万円
業種: HEBEL HAUS(ヘーベルハウス)の柱、梁、制震装置などの鉄骨部材を中心に、断熱部材・屋根パネル・開口パネル等、様々な部材を供給する総合生産会社

HEBELHAUSは、スマートエネルギーにより、年間一次エネルギー消費量が正味でゼロ以下となる住まいの実現を目指しています。スタイロフォームやネオマフォームを使った加工をしていますが、高断熱化が進む中で断熱材の廃棄物削減をあきらめることなく、引き続き学び・行動・実現に向けて活動を行ってまいります。



第二製造部副部長
片倉 康貴さん



滋賀県のプラスチックごみ削減の取組等に関するお問い合わせ

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845

プラスチックごみを減らそう!



株式会社エコパレット滋賀(甲賀市)

プラスチックごみが生まれ変わる! リサイクルについて学ぼう!!

当社では、各家庭から排出される市町村で分別・圧縮された容器包装プラスチックごみを引き取り、選別・破碎・洗浄・成型加工を行うことにより、プラスチックパレットを製造しています。製造されたパレットは、物流用資材として、物流にかかわる多くの場面に利用されています。

また、当社では工場見学を通じて、より多くの方に容器包装プラスチックリサイクルの現状を理解していただくために一般の方の見学を受け入れています。

工場見学を通じて、リサイクル工程における課題などを知っていただくとともに、プラスチックごみの分別の重要性を実感していただきたいと考えています。当社は県民のみならずとも、限りある資源を有効に利用し、循環型社会を推進してまいります。



プラスチック製容器包装の例



ボトル類



ビニール袋・レジ袋類



弁当等の空き容器類



ペットボトルのキャップ



透明なプラ容器類



ネット類・緩衝材類



プラスチックパレット



工場見学を行っている



株式会社 エコパレット滋賀

住所: 甲賀市甲南町柑子2002番地24
 TEL: 0748-86-1601 FAX: 0748-86-1602 HP: <http://www.ep-shiga.co.jp/>
 設立: 平成11年 資本金: 50,000千円
 業種: 家庭から排出されるプラスチックごみのリサイクル
 プラスチックパレット(リサイクル)の製造販売

エコパレット滋賀は、「日々変化する社会が求めるものを提供し続けること」を念頭に置いた経営理念のもと、廃プラスチックの MATERIAL リサイクルを通じて、地球環境の保全とお客様へのサービスの向上を目指し取り組んでいます。



取締役工場長
 為井 章宏 さん



滋賀県のプラスチックごみ削減の取組等に関するお問い合わせ

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845



琵琶湖ホテル（大津市）

SDGsの取り組みで持続可能な美しい琵琶湖へ

20年以上にわたり取り組んできた環境保全活動と

客室アメニティプラスチックフリーについて

当ホテルは日本が誇る美しい琵琶湖畔でホテル業を運営する企業として、お客様に滋賀県での滞在を心から愉しんでいただくと同時に、琵琶湖の清らかな水を守り、そこに生息する多様な生命体を守り続けることが使命であると考えています。

これまで20年以上にわたり取り組んできた里山保全活動に加え、2022年4月1日からスタートする使い捨てプラスチック製アメニティを使用しない脱プラスチック活動との両面から、琵琶湖とその周辺の自然環境保全に努め、「環境と観光の共生」を目指してまいります。

4月1日以降、全客室内の使い捨てプラスチック製アメニティを設置せず、普段から使い慣れたアメニティをお客様ご自身でご持参いただく「ライフスタイル型」の滞在を提案し、ご希望のお客様には環境に配慮した客室アメニティ（竹製歯ブラシ&歯磨き粉セット、木製髭剃り、木製ブラシ）を販売します。ご購入いた

だいたアメニティは使い捨てではなく、ご自宅へ持ち帰り何度もご利用いただけるよう、持ち帰り用の袋をご用意します。

客室内にあるプラスチックアメニティ製品についても撤去および、環境に配慮した製品に差し替え・導入を進めてまいります。



琵琶湖ホテル

住所：滋賀県大津市浜町2-40
 TEL：077-524-7111（代表） FAX：077-524-8318
 HP：<https://www.keihanhotels-resorts.co.jp/biwakohotel/>
 開業：1934（昭和9）年10月
 業種：ホテル・飲食業

2022年、琵琶湖ホテルは開業88周年を迎えるにあたり、お客様への「感謝」と「未来」をテーマとして、地域の皆さまと一緒に持続可能な活動をより深く追求し、ホテルのおもてなしを通じて滋賀・琵琶湖の未来を形にしています。



総支配人
前田 義和 さん

滋賀県のプラスチックごみ削減の取組等に関するお問い合わせ

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845



プラスチックごみを減らそう!



三光合成株式会社 滋賀工場 (東近江市)

プラスチック材料の再利用

当社は、プラスチック成形加工および金型製作をしている会社です。

主に自動車部品や家電製品など多種多様な製品を生産していますが、プラスチック製品の製造過程では不良品や端材(スプールなど)が発生します。そこで金型の設計・

製作をしている強みをいかして、製品形状や金型構造を工夫することにより端材の発生そのものを抑えたり、発生した不良品や端材等を粉砕機で粉砕し、樹脂材料に配合して再利用を推進し、社外への排出量を削減しています。

ひとくちにプラスチックと言っても、数多くの種類があり、それぞれ性質も用途も様々です。様々な種類のプラスチックを取り扱っていますので、「混ぜればゴミ、分ければ資源」という考えの



粉砕機

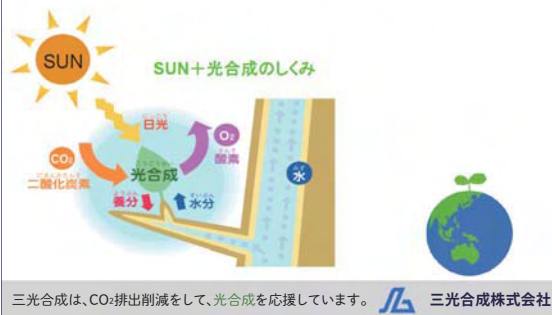


端材(スプール)

もとで分別を徹底して再利用することにより、リサイクル率の向上に努めています。

また、生産性の向上、不良低減を最優先に改善活動を行い、資源の有効活用、省エネはもとより、CO₂排出削減に努め、ものづくりメーカーの一員として地球環境、気候変動にプラスの活動であるよう、一層の努力を重ねてまいります。

当社のエコ活動の紹介



三光合成株式会社 滋賀工場

住所: 滋賀県東近江市蛇溝町1554番地
 TEL: 0748-22-6100 FAX: 0748-24-1160 HP: <https://www.sankogosei.co.jp/>
 設立: 1944年9月18日 資本金: 4,008百万円
 業種: 合成樹脂成型品の製造/合成樹脂成型用金型の設計・製造/
 工業製品用のデザイン、設計、試作/工業用ロボット、各種機械
 器具の自動制御装置の設計・製造

三光合成は、CO₂排出削減をして、光合成を応援しています。プラスチックの特性を最大限に生かし、「軽薄短小」を最重点テーマとして、より環境負荷軽減を念頭におき、新製品の開発をしており、それらをお客さまに提案して、満足いただけるように営業、技術、製造部門一丸となって活動しております。生産工程では、生産性向上、不良低減を最優先に改善活動を行い、省エネはもとより、CO₂排出削減に努めております。



総務課 課長
門脇 立晃さん

滋賀県のプラスチックごみ削減の取組等に関するお問い合わせ

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845





食品ロス削減の取組紹介



vol.1

DELI&café 一汁三菜 (粟東市)

市場に出回らないB級商品を農家さんと直接取引

当店では地産地消をオープン当初から取り入れ、地元農家さんとのつながりを大切にしてきました。またオーナー自身が農家ということもあり、地元の農家さんとのつながりを活かして廃棄処分するようなB級商品を取り寄せ、加工・調理することでお客様に旬の野菜を低価格で提供してきました。農家さんからも普段なら自分で食べるか近所に配るような商品にならない商品を買取ることによって喜ばれております。



DELI&café 一汁三菜

住所: 滋賀県栗東市御園1889 TEL:077-598-6032
HP: <https://www.1juu3sai.com/>
設立: 2014年1月 業種: 飲食業、お弁当・お惣菜製造業、菓子製造業

滋賀には地域のおいしい野菜がたくさんあります。その野菜の多くは地元や京阪神で消費されますが残念ながらすべてが商品になるわけではないのです。虫食いや破損、穴あきなどがある商品は店頭で並べられることはありませんが、その部分を取り除けば形は悪くても味には問題はありません。むしろ低農薬の旬のものをいただくことで美味しさも十分に感じられます。そしてそれが食品ロス低減につながれば一石二鳥ですね。



オーナー 林 篤徳さん

三方よし!!でフードエコ・プロジェクトとは・・・

滋賀県では、近江商人が昔から大切にしていた、売り手よし・買い手よし・世間よしの「三方よし」の精神をもとに「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に取り組んでいます。ちょっとした心がけで売り手よし!買い手よし!環境よし!と誰もが笑顔で「よし!!」となるプロジェクトに、ぜひご協力ください。



「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に関するお問い合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845



よっしーくん



株式会社 西村食品 (大津市)

養殖真鯛を提携した養殖業者から
定量仕入れにより食品ロスを削減

当社は、養殖真鯛を愛媛県の「腕の良い」生産者に養殖して頂き、通年出荷・通年納品・通年同一価格で取り組んでいます。

養殖魚は天然魚と違い、計画生産し計画出荷がしやすいだけでなく、与える餌により品質を向上させることもできるため、お客様の要望に合わせたサイズでの出荷も可能となります。

そのため、販売先、販売価格が養殖生産をする前に決まっていれば、生産者は安心して養殖生産が出来、より品質の良い養殖魚を育てられます。また、生産しすぎないことにもなるため、食品ロスの削減に繋がっています。



株式会社 西村食品

住所: 大津市瀬田大江町59-1 TEL: 077-543-8384
 FAX: 077-543-8387 HP: <http://nishimura-skn.com/>
 設立: 昭和61年6月10日 業種: 鮮魚・冷凍魚・高級珍味、業務用食材卸売、食品加工(鮮魚加工品)、食品ギフト、ゴルフコンペ商品(海鮮品・干物)

当社は「三方幸せ創造」ということを企業理念としています。販売業者の安定仕入れ・生産者の安定生産そしてお客様の視点で安心安全な食品のお届けに加えて、環境にも繋がる食品ロスを防ぐ取組に努めております。今後は養殖真鯛だけでなく、すべての養殖魚に応用が出来ますので波及・拡大の可能性は十分にあります。他にも大学の授業で「魚のさばき方教室」を行なうなど、産学連携にも積極的に協力しております。また滋賀県の水産物も県内外で販路を拡大し、地域産業の発展にも貢献してまいります。



代表取締役社長
田中 一男さん

三方よし!!でフードエコ・プロジェクトとは・・・

滋賀県では、近江商人が昔から大切にしていた、売り手よし・買い手よし・世間よしの「三方よし」の精神をもとに「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に取り組んでいます。ちょっとした心がけで売り手よし!買い手よし!環境よし!誰もが笑顔で「よし!!」となるプロジェクトに、ぜひご協力ください。



「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に関するお問い合わせ

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
 TEL: 077-528-3477 FAX: 077-528-4845





株式会社ゾーンプラス (ecoat 大津瀬田店)

食品ロス削減と食糧支援

余って捨てられていた可能性の高い、比較的賞味期限の迫った食品を買い取り、安価にて販売するお店です。また、様々な事情で3食ともに食べられない生活困窮者への食糧支援と食品ロス削減への啓蒙活動を行っています。

食品メーカー様や食品問屋様と様々な形で連携させて頂いており日本の商習慣である1/3ルールから外れた商品や一部破損品の買い取りや引き

取りなどを積極的に行っております。

ecoat 大津瀬田店では、1ヶ月で31トン(令和3年6月実績)もの食品ロス削減を達成致しました。

NPO 法人と共同運営ですが、活動資金の捻出も寄付金や補助金(税金)などに一切頼らない ecoat 収益のみで完結した形で社会貢献活動を行っております。



ボランティアの方と従業員



株式会社 ゾーンプラス (ecoat大津瀬田店)

住所:滋賀県大津市萱野浦24-65 TEL:077-548-6804 FAX:077-548-6803
 設立:2010年8月25日 業種:インターネット上での物販、食品ロス削減に向けたecoat店舗展開など

もともと個人的に「もったいない」との思いから始めた食品ロス削減活動です。NPO法人日本もったいない食品センターと連携を取り、2020年9月よりecoat大津瀬田店をオープン。余って困っている事業者と、足りなくて困っている困窮者を繋げる橋渡しの存在となれるような場所(お店)を目指しております。様々な形で啓蒙啓発活動を続け、少しでも多くの食品ロス削減に貢献出来ればと思っております。



代表取締役社長 橋本 広宣さん

三方よし!!でフードエコ・プロジェクトとは・・・

滋賀県では、近江商人が昔から大切にしていた、売り手よし・買い手よし・世間よしの「三方よし」の精神をもとに「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に取り組んでいます。ちょっとした心がけで売り手よし!買い手よし!環境よし!誰もが笑顔で「よし!!」となるプロジェクトに、ぜひご協力ください。



「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に関するお問い合わせ
 滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
 TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845



よしーくん



株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

「てまえどり」告知について

2020年10月の食品ロス削減月間に、滋賀県と連携し、県内セブン-イレブン店舗売場にて滋賀県作成の「てまえどり」告知物の展開を行いました。

「てまえどり」とは、お客様が商品を選ぶ際、買ってすぐ食べる食品は、棚の「手前」に並んでいる消費期限が迫っている商品から取っていただけるよう案内する取り組みです。



セブン-イレブンでは2020年5月より、消費期限の近い商品を電子マネーnanacoで購入いただくと5%分のnanacoボーナスポイントを付与する「エシカルプロジェクト」を全国に拡大しています。

「てまえどり」の取り組みを実施したエリアでは、エシカルプロジェクトと合わせてご案内する事で認知向上に繋がっております。

尚、滋賀県との「てまえどり」告知の連携は、本年10月にも実施する予定です。



株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

住所: 東京都千代田区二番町8番地8 TEL: 03-6238-3711(代表)
HP: <https://www.sej.co.jp/>
設立: 昭和48年11月20日 業種: コンビニエンスストア

滋賀県では、県および市町様との地域活性化包括連携協定に基づき、様々な地域連携に参加させていただいております。環境の取り組みにつきましては、7月1日のびわ湖の日の盛り上げで長く県と連携させていただき、本年はMLGsの取組みに賛同し「滋賀県 MLGs nanaco」という琵琶湖の環境保全活動への寄付金付き電子マネーカードを発行させていただきました。これからも滋賀県の店舗、お客様と共に地域の環境を考えた取り組みを進めてまいります。



総合渉外部
兵庫・京滋・奈良ゾーン
行政推進
古賀 麻里子さん

三方よし!!でフードエコ・プロジェクトとは・・・

滋賀県では、近江商人が昔から大切にしていた、売り手よし・買い手よし・世間よしの「三方よし」の精神をもとに「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に取り組んでいます。ちょっとした心がけで売り手よし!買い手よし!環境よし!誰もが笑顔で「よし!!」となるプロジェクトに、ぜひご協力ください。



「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に関するお問い合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845



よっしーくん



一般社団法人フードバンクびわ湖

「フードドライブ」「フードボックス」などの普及推進による食品ロス削減への取り組み

私たちは、まだ食べられるのに様々な理由で廃棄される食品を企業や個人から集め、食品を必要とされる人や施設・団体に届ける活動に取り組んでいます。

まず食品の収集ですが、「食品ロスを地域資源へ！」をスローガンに、各方面に寄付を働きかけています。その中で最も力を入れているのが、家庭に眠っている食品を持ち寄る「フードドライブ」実施の提案活動です。地域・団体・企業等のコミュニティに、気軽に取り組める地域貢献事業としてフードドライブの実施を呼びかけています。



また、市役所・地域交流施設・自治会館・寺院・介護施設・レストラン等、人が集まる施設にフードボックス(食品回収箱)の設置を呼びかけ、いつでもどこでも誰でも食品を寄付できる環境づくりを進めています。

お陰様で、多くのコミュニティがフードドライブに取り組んで下さるようになり、フードボックスの設置拠点は県内38箇所となり、食品の寄付は激増しています。

こうして寄せられた食品を活用し、私たちは、「フードパントリー」(食品配布会)を行っており、市役所・社会福祉協議会や子ども食堂等、地域の諸団体と連携・協働しながら各地で開催し、利用者の方々に必要な食料を届けています。これらの活動を通して、食品ロス削減と生活問題の改善を促進し、滋賀県の環境と福祉の向上に少しでも貢献したいと考えております。



一般社団法人フードバンクびわ湖

住所: (本部) 甲賀市水口町北脇557 浄福寺 (事務局) 守山市吉身2丁目5-9 Future Lab内
TEL: 090-2017-6822 FAX: 0748-62-1932
HP: https://peraichi.com/landing_pages/view/foodbankbiwako/
設立: 2008年7月 法人成立2020年10月21日
業種: 食品ロスを引き取り、食料支援を必要とする人や施設・団体に届ける活動を行う

私たちは「もったいないを笑顔と絆に!」を合言葉に活動しております。フードバンク活動は「もったいない」「お互い様」「お陰様」精神の大切さに気づかせてくれます。この気づきの共有が、地域の「笑顔と絆」を育み、持続可能な地域共生社会実現の原動力になるに違いありません。その信念を持って、今後フードバンク活動の普及推進により一層精進してまいります。



理事長
曾田 俊弘さん

三方よし!!でフードエコ・プロジェクトとは・・・

滋賀県では、近江商人が昔から大切にしていた、売り手よし・買い手よし・世間よしの「三方よし」の精神をもとに「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に取り組んでいます。ちょっとした心がけで売り手よし!買い手よし!環境よし!誰もが笑顔で「よし!!」となるプロジェクトに、ぜひご協力ください。



「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に関するお問い合わせ

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845





有限会社丸二果実店 (大津市)

果物を様々な形で商品化

果物は、とても繊細な食べ物です。美味しく味の問題がなくても、表面に傷が付いてしまったり、一部が傷んでしまうと、販売が難しくなります。こうした果物の多くは、やむを得ず廃棄していました。

そこで、ただ販売するだけでなく、味や品質などその果物の良い部分を活用し、その美味しさを余すところなくお客様へ届け、お客様に喜んでもらうためにはどうすれば良いかと考えるようになりました。

こうした店主の想いから、2011年に店舗内に喫茶スペースを増設し、味や品質に問題がなく、まだ食べられる果物を有効に活用して、搾りたてのジュースや、日替わりのフル



スイカのドライフルーツ

フルーツサンド



ーツパフェ、看板メニューのフルーツサンドとといったようにかたちを変えて販売できるよう工夫しました。また、果物を乾燥させたドライフルーツの販売も開始しました。例えば、夏限定のスイカのドライフルーツであれば皮だけでなく種まで食べられます。ドライフルーツを商品化できたことで、今まで当たり前に廃棄してしまっていた皮や種も果物の一部として味わってもらえます。

その結果、1年あたりの食品ロス量をこれまでの半分以上削減することに成功しながら、長年果物と向き合ってきたからこそできる、その時の果物の状態に合わせた商品を提供し続けていきたいと考えています。

有限会社 丸二果実店

住所: 滋賀県大津市長等2丁目10-7 TEL:077-526-0444
 FAX:077-526-0444 HP: <http://maruni-otsu.co.jp/>
 設立: 1912年 業種: 果物・果物ギフト・果物加工品の販売、フルーツパーラー

丸二果実店は、1912年に創業。大津市長等の菱屋町商店街にある小さな果物屋です。果物は「旬」がとても美味しい。お客様に「旬」の果物を長く食べて頂ける商品を日々作っています。商品の形にはこだわらず、果物屋だからできることを考え試行錯誤しフルーツサンドやパフェ、ドライフルーツの販売を始めました。フルーツサンドは誰でも1口で食べられる大きさに。ドライフルーツは果物の素材の味、本来の甘さを知っていただけのために砂糖不使用・無添加です。どの商品もお客様目線を大切に商品化しています。安心・安全に味わっていただける商品を作り続けていきたいです。



製造責任者
寺田 みどりさん



三方よし!!でフードエコ・プロジェクトとは・・・

滋賀県では、近江商人が昔から大切にしていた、売り手よし・買い手よし・世間よしの「三方よし」の精神をもとに「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に取り組んでいます。ちょっとした心がけで売り手よし!買い手よし!環境よし!誰もが笑顔で「よし!!」となるプロジェクトに、ぜひご協力ください。



「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に関するお問い合わせ

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
 TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845



よっしーくん



Orpo (粟東市)

食材廃棄0の飲食店

滋賀県産の野菜を中心に扱うレストランです。健康管理士の資格を持つシェフが、栄養も考慮しつつ、その時期に合わせた素材を生かした料理を提供する「身土不二(しんどふじ)」をコンセプトにしています。

また、「一物全体食(いちぶつぜんたいしよく)」という食材を無駄なく使い切るといふコンセプトも大切にされており、それが食品ロス削減の実践につながっています。たとえば、ブイヨンやフユメドポワソンといった鶏や魚の出汁の代わりに、通常捨てる部分である野菜のヘタ、魚



の骨、肉のスジや椎茸の軸などでポーンブラスという出汁をとることで、無駄なく、食材の良さを最大限まで引き出すよう努めています。(使用するものによって、毎回出汁に若干の違いが出るが、料理への活用方法を変えるなどの工夫をしています。)

また、コース料理を基本としているので、量の目安がつきやすいことから、食べきれなくなるほど注文されることはなく、食べ残しもほとんど出ていません。

さらに、料理に活用することが難しい魚の肝や土の付いた野菜の皮などは、コンポストを活用し、堆肥化することで、店の庭のハーブガーデンの土として再利用しています。



Orpo

住所: 滋賀県 粟東市下鉤 1147-6 TEL: 077-553-7553
HP: <https://r.gnavi.co.jp/naubwpr60000/>
設立: 2019年12月1日 業種: レストラン

大阪や京都でフレンチを学び、その後障害者の支援機関(就労継続支援B型)の施設長をしながら滋賀でお店を開く。SDGsに関心が高く、より良い環境を次世代につなげる取り組みを行っています。



オーナーシェフ
高橋 雄一さん

三方よし!!でフードエコ・プロジェクトとは・・・

滋賀県では、近江商人が昔から大切にしていた、売り手よし・買い手よし・世間よしの「三方よし」の精神をもとに「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に取り組んでいます。ちょっとした心がけで売り手よし!買い手よし!環境よし!と誰もが笑顔で「よし!!」となるプロジェクトに、ぜひご協力ください。



「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に関するお問い合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845



よしーくん



プティボヌール (大津市)

リベイクパンとお泊りパン



当店は焼きたてパンをリーズナブルな価格でお客様に提供するお店です。焼きたてパンの製造販売において売り切りは難しく、常に新鮮な商品をお買い上げいただくために、売れ残ったものは廃棄処分せざるを得ませんでした。そのロスは採算面からも極めて大きい課題でした。そこでその解決策として「リベイク」を実施しました。リベイクとは、SNSでお客様から注文を受け、当日売り切ることの出来なかつたパンをその日のうちに冷凍しお届けするというものです。販売価格の30〜40%程度の価格で、お客様には当日作ったパンの味がリベイクパンとしてそのままお届けすることが出来る一方、材料費程度をカバーする

ことができ低価格高品質のパン製造販売事業も継続が可能となります。加えて、焼き立てパンをお客様の注文に応じてそのまま冷凍し店頭でお渡しする、お泊りパンの方式もスタートさせました。お泊りパンは、リベイクパンによる食品ロス削減から着想を得たものですが、コロナ禍において家庭で過ごす時間が多くなる中、焼きたてパンの美味しさを味わっていただけるとともに、捨てられていたかもしれないものも無駄なく食べ切っていただけるという一石二鳥の効果をもたらすものです。食品ロスをなくすという課題と向きあい、こうした取組を通して、「売り手よし、買い手よし、環境よし」の三方よしを実現し、社会貢献できたことで、大きな希望と自信を持つことができました。



W.Sマーケッツ株式会社(プティボヌール)

住所: 大津市鏡が浜20-1-207 TEL: 050-5894-4335 HP: <http://petitbonheur-b.jp/>
 設立: 平成22年8月 業種: パン製造・販売

滋賀・京都・大阪近郊でおいしい税込118円パンの製造・販売を行なっているPETIT BONHEUR-プティボヌール-です。当店はフレンドマートをはじめとした大型スーパー内に店舗を構え、地域密着型の店舗を目指し、日々営業しております。滋賀県内ではフレンドマート大津京店に店舗がございます。PETIT BONHEUR-プティボヌール-のパンが食卓にならび、笑顔で溢れることを心から願っております。みなさまのご来店を、心よりお待ちしております。

代表取締役社長 園田 亙 さん

三方よし!!でフードエコ・プロジェクトとは・・・

滋賀県では、近江商人が昔から大切にしていた、売り手よし・買い手よし・世間よしの「三方よし」の精神をもとに「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に取り組んでいます。ちょっとした心がけで売り手よし!買い手よし!環境よし!と誰もが笑顔で「よし!!」となるプロジェクトに、ぜひご協力ください。

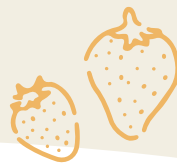


「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に関するお問い合わせ

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
 TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845



よっしーくん



琵琶湖ホテル (大津市)

セルフオーダーシステム「ORDER beEAT」でフードロス削減



当ホテルは目の前に雄大な琵琶湖や比叡、比良の山々が一望できる素晴らしいロケーションが自慢のホテルです。コンセプトはリゾート&ラックス。客室はすべてレイクビューで、館内には日本料理をはじめ鉄板焼やイタリアンなど8店舗のレストランがあり、近江牛やモロコといった滋賀、琵琶湖のグルメをお客様に楽しんでいただいています。

食べ残しなどのフードロスについては、当ホテルでも大きな課題のひとつとなっています。宴会では3010運動を推奨しており、幹事様に宴会開始30分間と終了前10分間は自席でお食事を召し上がっていただくようご協力をお願いしています。



また、「レストラン ザ・ガーデン」では常設のビュッフェコーナーにずらりと並べた料理の提供方法を変更し、2021年7月14日よりORDER beEAT(セイコーソリユーションズ社製)を採用、お客様ご自身のスマートフォンをメニュー兼オーダー端末としてご利用いただき、お好みのメニューを食べたい分だけご注文いただくスタイルにしました。

た。料理の配膳・下膳は配膳・運搬ロボット Servi(ソフトバンクロボティクス社製)にお任せいただくことで、お客様への人的接触の機会を減らし着席したまま安心してご注文いただいています。これによりコロナ禍における人との接触を軽減しつつ、ビュッフェ料理の食べ残しによるフードロスを軽減していく取り組みとなっており、お客様からも出来立ての料理を楽しんでいただけるといことで大変好評をいただいています。



琵琶湖ホテル

住所: 滋賀県大津市浜町2-40
 TEL: 077-524-7111 (代表) FAX: 077-524-8318
 HP: <https://www.keihanhotels-resorts.co.jp/biwakohotel/>
 開業: 1934 (昭和9)年10月 業種: ホテル・飲食業



総支配人 前田 義和 さん

2022年、琵琶湖ホテルは開業88周年を迎えるにあたり、お客様への「感謝」と「未来」をテーマとして、地域の皆さまと一緒に持続可能な活動をより深く追求し、ホテルのおもてなしを通じて滋賀・琵琶湖の未来を形にしていまいます。

三方よし!!でフードエコ・プロジェクトとは・・・

滋賀県では、近江商人が昔から大切にしていた、売り手よし・買い手よし・世間よしの「三方よし」の精神をもとに「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に取り組んでいます。ちょっとした心がけで売り手よし!買い手よし!環境よし!と誰もが笑顔で「よし!!」となるプロジェクトに、ぜひご協力ください。



「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に関するお問い合わせ

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
 TEL: 077-528-3477 FAX: 077-528-4845





株式会社 アースクリエーション (草津市)

地域社会における廃ガラスの

資源循環と利活用

当社は、廃ガラス瓶のリサイクル拡大を目指して資源循環型社会の構築において、必要不可欠な高い付加価値をもつガラス発泡資材「スーパーソル」の製造販売を行っています。これまでほとんどが廃棄されてきた、色合いの異なる廃ガラス瓶が混合された資材を再生利用しています。スーパーソルは、廃ガラスを粉碎・焼成発泡して製造される無機系多孔質軽量発



スーパーソルの特長



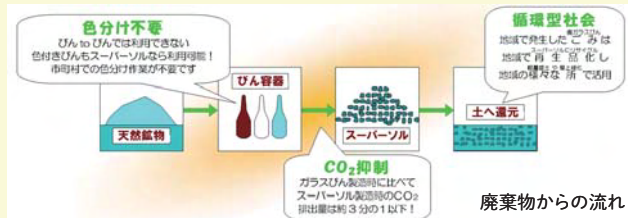
廃ガラス瓶及びスーパーソル焼成炉

泡資材です。土の成分であるケイ素と同成分で、環境にやさしい土壌還元型です。無機鉱物性のため、熱や薬品に強く、物理的・化学的にも安定しています。

特長として、

- ・多孔質(無数の気泡が開いています)
- ・排水性(目詰まりしにくい)
- ・耐火性(無機鉱物のため、耐火性があります)
- ・超軽量(自由にコントロールできます)
- ・保水性(草木などの生長を促進させます)
- ・透水性(水はけは抜群)
- ・ECO(土壌成分からなる無機鉱物性)等があります。

また製造工程において、比重・吸水率を自由にコントロールできることから、土木をはじめ、緑化、園芸、水質浄化、断熱など多くの用途で活用されています。



株式会社 アースクリエーション

住所: 滋賀県草津市山田町205番地1 TEL:077-567-3223 FAX:077-563-7782
HP: www.ayashiro.co.jp 設立: 平成26年12月15日
業種: スーパーソルの製造販売

地球で発生したごみ(廃ガラス瓶)は地球で再生(スーパーソルにリサイクル)し、地球の様々な所(軽量盛土・屋上緑化・鉢底石・防犯じりり)で活用するという脱炭素の基本理念のもとで開発された商品です。

環境に優しいスーパーソルの製造加工により、廃ガラス瓶がリサイクル資材として流通することが促進され、持続可能な循環型社会の構築が一層進むことを期待しています。



取締役
横江 理恵さん



田中建材株式会社 (高島市)

再生木質を利用したアスファルト舗装
「ハーモニーロードウッド」

従来は不可能と考えられていた木質チップとアスファルトを高温で混合する技術を開発し、舗装材料として提供しています。解体廃材や樹木の間伐材を利用しているため、木質を焼却することと比較して、10000㎡あたり5〜6トンのCO₂を歩道空間に固定します。砕石を用いた舗装と比較し、製造エネルギーを40%程度低減できます。断熱性があるため都市部のヒートアイランド抑止効果もあります。古くなった製品を回収し、再利用できる技術も新開発し、SDGsを意識した製品づくりを行っています。

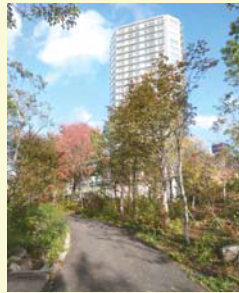


ジョギングに適した弾力性を評価され採用頂いた京丹波のクロスカントリーコース

施工実績は日本全国に及び、オリンピックの選手村や体操会場をはじめ、北は青森の白神山地、南は種子島まで施工させて頂いております。その他に木質を、エアコンの吸着材となる炭やパーティクルボードの原料として供給しています。



青森県の世界遺産、白神山地にてマタギの休憩小屋のある施設周辺の木質舗装



都市の中の森をイメージした東京青山3丁目のマンション群の公園



田中建材株式会社

住所：滋賀県高島市今津町今津1677-14 TEL:0740-22-0217 FAX:0740-22-1349
HP:<http://tanakakenzai.co.jp> 設立:1967年
業種:土木、建築、舗装、解体、リサイクル

創業当初から長年、建設事業に注力してきました。経営者の世代交代を機に、2000年から環境保全に取り組み、企業生命を懸けてでも子供たちの未来を守ることを決意し、「環境で地域一番」を合言葉に努力してきました。2015年に滋賀県低炭素社会づくりの知事賞、2017年に地球温暖化防止活動環境大臣表彰を拝命する機会を頂き、2018年にしが低炭素ブランド認定も頂きました。今後も更なる研鑽を怠らず、SDGsを見据え今無い技術を社会に提供できる企業を目指します。



代表取締役社長
小島 守さん



株式会社 山崎砂利商店 (大津市)

建設残土の有効利用方法

当社は、滋賀県で碎石・砂利製造、土木・建築工事、廃棄物リサイクル、汚染土壌リサイクルを行っています。

当社が紹介するリサイクル技術は、建設残土および建設副産物の再生利用方法です。建設現場で発生する建設残土は、土質が不均質であるため汎用性が低く、また、建設副産物を多量に含んでいるものが多いため、そのままでの再利用が難しいです。加えて、粘土質の残土は強度が出にくく転用が困難です。

しかし当社は、長年培った洗浄分級技術を活用し、土質粒度を分級し直し、建設副産物等の不純物を取り除き、用途毎の土質資材を製造することで「建設残土100%再利用」を可能にする技術を研究してまいりました。

研究にあたっては、物理性に関しては立命館大学、化学性に関しては金沢大学と共同し、研究で培ったノウハウを活用して、

安全かつ高品質な建設系土質資材を提供しています。

製造した資材は、すべて「滋賀県リサイクル認定製品」の認定を受け、安心して使ただけできるよう努めております。

提供資材一覧(主たる用途)

- ・盛土くん(汎用性の高い盛土材として)
- ・改土くん(汎用性の高い盛土材として)
- ・強土くん(高強度が求められる盛土材として)
- ・刃金土くん(不透水性が求められる池の堤体材等として)
- ・洗い砂P(建設・建築材料として)
- ・Rs' 75(住宅地造成基礎等の施工性が求められる盛土材として)



洗い砂P



Rs' 75



株式会社 山崎砂利商店

住所: 滋賀県大津市浜大津4丁目7-6 TEL:077-523-2821 FAX:077-523-2832

HP:<http://yamazaki-jari.co.jp/> 設立: 昭和2年5月1日

業種: 碎石・砕砂事業、土木工事業、産業廃棄物処理事業、土壌浄化再生事業

当社は創業以来一貫して、自然環境破壊に直結しないように最大限の注意を払ってきました。創業理念を現実的なものにするために技術研鑽に励み、地域社会への貢献を目指して、日々努めております。

また、いち早く最新式中間処理施設・破砕機を導入し、製紙原料等の資源原料や建設資材に再利用できるよう資源リサイクルにも力を入れています。



専務執行役員
奥田 貴光 さん



三和産業株式会社 (湖南省)

脱炭素に向けて貢献致します

当社は、持続可能な社会に貢献すべく1992年より業界に先駆け、下水汚泥溶融スラッグを粗骨材としてリサイクル利用したコンクリート二次製品の開発・製造販売を行ってまいりました。現在、「滋賀県リサイクル製品」としてコンクリート二次製品の認定を受け、環境負荷低減、資源の再利用に積極的に取り組んでいます。

【現在の滋賀県リサイクル製品の紹介】

- 車止・ベンチ
- SRB 歩車道境界ブロック
- SRB 地先境界ブロック
- SPC 基礎ブロック
- SR-MQR ブロック
- SRB 上ふた式U型側溝など



近年、2050年カーボンニュートラルが宣言され、CO₂排出削減が事業者の責務とされました。我々は、CO₂を排出した責任を負い、回収する新たな責務と脱炭素社会に向け重要な役割を果たしていくため、県内の大学と連携し、「CO₂吸収型コンクリート」の開発研究と実証を進めています。



【CO₂吸収型コンクリート】の説明

コンクリートが経年に伴って、空気中のCO₂を吸収するという性質に着目しました。CO₂と水酸化カルシウムが反応し、炭酸カルシウムを生成する中性化の過程でCO₂を吸収します。更に、中性化をより進めるために産業廃棄物の下水汚泥焼却灰を利用します。この技術により、従来のものより5%以上多くのCO₂を吸収・固定させることを目指しています。

また、当社は、コンクリートの性質を上手く利用することで、「コストをかけず、早期に簡単に」取り組める技術開発を行うことを重視しております。このCO₂吸収型コンクリートが身近なところで活躍する日も間近となってきましたので、ご期待ください。

当社は、持続可能な開発目標SDGs「12・作る責任・使う責任」を果たし、次の3つの貢献に努力致します。

- ① 資源の有効利用とクリーンな技術により持続可能な社会を形成致します
- ② 脱炭素に向け、環境上の悪影響を軽減し持続可能な都市を促進致します
- ③ この技術により脱炭素と共に、気候変動にも大きな貢献致します



三和産業株式会社

住所: 滋賀県湖南省菩提寺2071-3 TEL:0748-74-1330 FAX:0748-74-1691
 HP: <http://www.sanwa-shiga.co.jp/>
 業種: コンクリート二次製品製造業

三和産業株式会社は、お客様の最新ニーズにお応えすべく、経験から得たノウハウと豊富なデータを活用し新製品の開発を行っております。今日、建設資材で使用される製品は、多種多様に変化しています。その変化のスピードに挑戦すべく、当社はコンクリートに関する技術を結集し、様々な新素材との適合性を図った製品を市場に提案しています。また、様々な環境破壊、環境汚染が問題となる今日、リサイクル製品を筆頭に、人と自然の共生に貢献でき、より安全で快適、より高品質で安価な製品を社会に提供し、企業として社会的な使命を果たしていく所存であります。皆様の一層のご支援をお願い申し上げます。

代表取締役 葉名 宏幸 さん



株式会社 水口テクノス (甲賀市)

生ゴミ循環エコロジーシステム

当社では、ごみの減量化と循環型社会の構築を目指し、平成14年より一般家庭からの生ごみを高熟成堆肥にリサイクルする「生ゴミ循環エコロジーシステム」を開発し、運営しています。家庭でのプロセスは、事前にニオイを抑える効果のある種堆肥を各家庭に配布し、バケツにて種堆肥・生ごみ・種堆肥の順番で投入していただきサンドウィッチ方式にすることで悪臭を抑えています。回収した生ごみは当社リサイクルセンターにて、草・剪定枝などと混合し、約2ヶ月ほど熟成発酵させ堆肥にし、滋賀県リサイクル認定製品「コンポ君」として、



生ゴミ循環エコロジーシステム



1日1,500袋製造しています。また、当社は食品リサイクル法の「再生利用事業登録」の認定を受けており、大型スーパーマーケット、ホテルなどから発生した生ごみも堆肥化しています。生ごみを搬入いただいた事業所様には、完成した堆肥を契約農家へ還元し、栽培された野菜・果実を販売する取り組みも行っています。地域の皆様や企業様のご協力をいただきながら、安心して生活できるまちづくりを目指し、今後も食品ロスや家庭・事業所から発生した生ごみの再生利用に取り組んでまいります。

株式会社 水口テクノス

住所: 滋賀県甲賀市水口町松尾502-18 TEL: 0748-62-1959 FAX: 0748-63-1960

HP: <http://www.m-technos.com/>

設立: 昭和56年3月 業種: 廃棄物リサイクル業



私たち水口テクノスの生ゴミ循環エコロジーシステムは、単に生ごみを減量・資源化するだけでなく、地域の特性を活かして生ごみを「ごみから資源に、資源から商品にシフトさせるまちの活性化を目指す一連の循環システム」です。また、環境と経済を両立する持続可能な社会づくりの世界共通の目標となる SDGsの視点も加えて、今後も様々な廃棄物リサイクルシステムに取り組んでまいります。



営業課主任
藤田 剛 さん

滋賀県のごみ減量・資源化の取組等に関するお問い合わせ
滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
TEL: 077-528-3477 FAX: 077-528-4845





株式会社 彦根麦酒 (彦根市)

資源循環型ブルワリーを目指して

彦根市石寺町に私たちのクラフトビール醸造所があります。荒神山、田園、曽根沼、そして近くには琵琶湖と恵まれた自然に囲まれた場所に位置しています。私たちは資源循環型ブルワリーを目指して、廃棄物の削減と資源循環に取り組んでいます。

併設されている直売所では、レジ袋や瓶・王冠をできるだけ使用しないよう、エコバックの推奨・販売



エコバッグとグラウラー

と、グラウラーという専用容器でのクラフトビールの量り売りを実施しています。



麦芽粕

醸造工程で排出される廃棄物の削減にも努めています。クラフトビールの原材料は主に、麦芽、ホップ、酵母、水です。麦芽をお湯に浸し麦汁をつくり、ホ



ップを加え煮沸し、冷やした麦汁に酵母を加えて発酵させます。この工程で、麦芽粕が大量に出ます。これらの麦芽粕を単に廃棄するのではなく、有価物として、地元で肥料や飼料、お菓子の材料として活用していただいています。

また、醸造工程では洗浄や熱交換のために大量の水を使用します。節水醸造を心掛け、貴重な資源である水を無駄遣いしないよう、日々取り組んでいます。



株式会社 彦根麦酒

住所: 滋賀県彦根市石寺町1853番地 (荒神山醸造所)
HP: <https://hikonebrewing.jp/> MAIL: info@hikonebrewing.jp
設立: 2019年 業種: 発泡酒製造・販売

私たちの醸造所は、環境に配慮した様々な取り組みがなされている滋賀県にあり、そして彦根市の豊かな自然に囲まれた田舎にあります。製造業はたくさんの廃棄物を排出してしまいますが、工夫をしながら廃棄物の削減に取り組みたいと思っています。麦芽の袋も何か活用したいと考えています。協働できる方がいらっしゃいましたらぜひご連絡お待ちしております。



醸造責任者
小島 なぎさん

株式会社 平和堂 (滋賀県彦根市西今町1番地)



サステナブルな社会の実現へ

平和堂のフードバンク活動～「もったいない」を「ありがとう」に～

株式会社平和堂は、かねてより商品の廃棄削減や適量販売などにより、事業者として食品ロス削減に取り組んでいる。

また、食品ロスの問題が大きな社会問題になっている中、国内で排出される食品ロスの約半数が家庭で発生していることを受け、消費者にも改めて食品ロスについて考えるきっかけを持っていただくために、全店舗において、店頭での食品ロス削減についての啓蒙活動を行っている。

1. 地域のみなさんと取り組むフードドライブ活動

2021年5月より、地域の社会福祉協議会やボランティア団体の活動場所として、店頭スペースをフードドライブ活動のために提供開始。一部店舗では、フードバンク団体と覚書を締結し、定期的にフードドライブ活動を実施している。



滋賀県社会福祉協議会のみなさま

2. 「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」を通じての子ども食堂運営や、食材を必要とされる方々の支援

2021年6月より、店舗で発生する食品ロスの削減と資源の有効活用を目的として、販売期限を迎えた精米を滋賀県社会福祉協議会へ毎月提供。精米の配送は、年間スケジュールを事前に決め、安定した運用ができるよう体制を整えている。平和堂グループ企業の「株式会社丸善」(7月～)、「株式会社エール」(8月～)も精米の寄付を開始。



旭食品様(後列中央2名)

3. 取引先と取り組むフードバンク活動

2021年7月より、加工食品の取引先企業「旭食品株式会社」から、納入期限を超えた商品を平和堂物流センターに持ち込みいただき、毎月の精米と合わせて自社物流便で滋賀県社会福祉協議会に提供。今後、他社にも支援の輪が広がることを想定している。

4. その他の取組

2020年9月より、彦根市内の平和堂グループ3店舗にフードバンクポストを設置。また、2021年4月より、平和堂本部内で余剰商品(サンプル等含む)回収ボックスを常設し、フードドライブを開始。集まった商品は「フードバンクひこね」に毎月提供。



《受賞者コメント》

この度は、栄えある賞をいただき、ありがとうございます。地域のみなさま、平和堂にご来店くださるお客様、そしてお取引先様のご協力があり、今回の受賞につながったと思います。まだ開始したばかりの活動ではありますが、資源を無駄にしない取組として、これからも食品ロスの削減につながるよう、活動を続けてまいります。また、地球規模や地域社会のサステナビリティについて、平和堂グループとして、積極的に関わることで、地球環境や地域の健康、地域の課題解決につながるよう努めてまいります。

国立大学法人 滋賀大学 経済学部 地域連携教育推進室

(滋賀県彦根市馬場一丁目1番1号)

滋賀大学における「People`s Pantry・みんなの食品庫」を核にした食品ロス削減の啓発と食料配布の取り組み



2019年11月に滋賀大学で実施したキャンパスSDGsのイベント「サステナウィーク」の取り組みの一つとして開始して以降、滋賀大学彦根キャンパスの地域連携教育推進室内に常設のパントリー「People`s Pantry みんなの食品庫」を開設。

教職員や学生らが家庭に保管している食品で余ったり不要になったものを受付し、必要とする学生への配布活動を行っている。

パントリーの運営は、地域連携教育推進室のスタッフと2020年に発足した学生自主活動グループ「滋賀大学サステナビリティ研究会」の学生らが担っている。

大学内で行うことで、教職員・学生への食品ロス削減の啓発と必要な人への配布が効率的に行え、ロス食品が活用されていることが見える化できている。

大学の授業やSDGsをテーマにしたイベントと常に連携して実施するとともに、「サステナビリティ研究会」発足以降は、教職員・学生の連携が活発になっており、今後も食品ロス削減の啓発とロス食品の有効活用が期待される。



また、地域の「フードバンクひこね」の活動に教員や学生らがボランティアとして参加し、運営に協力するとともに、食品庫で配布する食材の供給を受けている。

活動を通じて、彦根市社会福祉協議会とも連携・協力し、学生が中心

となり大学周辺の自治会（各家庭）や農業者から不要になった食材や規格外野菜の提供を募るなど、地域との関わりも広がってきており、地域への食品ロス削減への効果も期待できる。



《受賞者コメント》

この度は優良取組みとして選定いただき、ありがとうございます。

キャンパスSDGs活動として地域連携教育推進室から小さく始めたものが、学生らの自主活動と連携し、地域に広がる活動になってきました。食品庫を利用する学生の数も増えており、食品ロス削減の啓発が進むことに加え、コロナ禍であっても、大学に来たら食品が調達できたり、地域連携教育推進室のスタッフやこの場に集う学生と会話や交流ができたりと、学生にとって心と体の安心が得られる居場所にもなっています。

今回の受賞を励みに、地域連携教育推進室や「みんなの食品庫」の役割をより充実したいと考えています。さらに、地域との関係においても、大学の地域貢献という枠に留まらず、大学や大学生が地域社会を構成する一員であることを自覚し、活動に注力したいと思います。

有限会社 丸二果実店 (滋賀県大津市長等二丁目10-7)



果物の“旬”を長く、美味しく

果物はとても美味しい食べ物ですが、その旬はとても短く表面に傷が付きやすく傷みやすい。そうすると商品の価値がなくなり、やむを得ず廃棄処分するしかなかった。

そこで、味や品質など消費者に提供する方法を考え、その果物の良い部分を活用し、果物を乾燥させたドライフルーツにすれば旬の果物を長く美味しく食べて頂けるのではないかと考え、商品化に取り組む。試行錯誤を重ねながら商品開発され、「果物屋が本気で作ったドライフルーツ」として、2010年から販売を開始。



例えば、夏限定のスイカのドライフルーツであれば、皮だけでなく種まで食べられるなど、ドライフルーツを商品化できたことで、今まで当たり前に廃棄していた皮や種も果物の一部として味わうことが可能となった。

現在、関西だけでなく、東京・横浜へと取扱店舗も徐々に増やし、またインターネット販売も手掛けるなど、販路を拡大するとともに、SNS等で幅広い年齢層への認知度が高まり、全国各地から問い合わせが来ている。

また、2011年に店舗内に喫茶スペースを増設し、「搾りたてのジュース」や、「日替わりのフルーツパフェ」、「看板メニューのフルーツサンド」といったように、かたちを変えて販売。より多くの方に知ってもらうために、クッキーの型抜きで星やハートの形にした「型抜きドライフルーツ」をフルーツパフェにトッピングするなど、様々な工夫をしながら取り組んでいる。その結果、1年あたりの食品ロス量をこれまでの半分以上削減することに成功している。



《受賞者コメント》

丸二果実店は、1912年に創業。大津市長等の菱屋町商店街にある小さな果物屋です。

果物は「旬」がとても美味しい。お客様に「旬」の果物を長く食べて頂ける商品を日々作っています。

商品の形にはこだわらず、果物屋だからできることを考え試行錯誤しフルーツサンドやパフェ、ドライフルーツの販売を始めました。

フルーツサンドは誰でも1口で食べられる大きさに。ドライフルーツは果物の素材の味、本来の甘さを知っていただけるために砂糖不使用・無添加です。どの商品もお客様目線を大切に、商品化しています。安心・安全に味わっていただける商品を作り続けていきたいです。

滋賀プラスチックごみゼロに向けた実践取組のための指針

の概要

◆基本とする考え方

ごみを出さないライフスタイルへの転換を目指して、多様な主体が役割を分担し、連携・協力しながら、プラスチックごみゼロに向けた取組を促進する。

- (1) ワンウェイプラスチック製品の使用を控えるなど、必要以上にプラスチックを使わない。
- (2) プラスチック製品は、安易に廃棄することなく、繰り返し使うなど再使用に努める。
- (3) プラスチックごみは、分別回収を徹底し、資源として活かす。
- (4) プラスチックごみは、適正に処理し、散在させない。

◆取組内容

・基本とする考え方を踏まえ、県民、県外からの訪問者、小売店・飲食店、農林漁業者、建設業者、製造業者、観光関連事業者、行政など、各主体に実践していただく主な行動例を示しています。



▲指針の詳細は、滋賀県ホームページをご覧ください。

滋賀県食品ロス削減推進計画

の概要

◆計画の理念「三方よしと県民総参加でフードエコ」

「売り手よし!」、「買い手よし!」、「環境よし!」の「三方よし」の精神のもと、県民総参加で「食品(フード)」の「環境保護への取組(エコ)」を実践。

◆施策の方向性と基本的施策

- (1) 知識や意識の向上と具体的な行動の実践
- (2) 食品ロス発生量等の実態把握
- (3) 未利用食品を有効活用する仕組みづくり

◆求められる役割と行動

・県民一人一人が食品ロスの問題を「我が事」として捉え、「行動」に移すことが必要。
・消費者、事業者、マスコミ・消費者団体・NPO等、県、市町が、それぞれに「求められる役割と行動」を実践するとともに、各主体が連携し、食品ロス削減の取組を推進。



▲計画の詳細は、滋賀県ホームページをご覧ください。

■滋賀県ごみ減量・資源化情報サイト

ごみゼロしが

滋賀県ごみ減量・資源化情報サイト



ごみゼロしが
ホームページ

<https://www.pref.shiga.lg.jp/gomizero/index.html>

「ごみゼロしが(滋賀県ごみ減量・資源化情報サイト)」では、事業者や団体、行政が実施するごみ減量などの取組に関する情報や3Rの実践例、補助金情報などを提供しています。

また、子供向けの「キッズ教室」ページや、食品ロス削減や資源の店頭回収情報などを掲載して、皆さんに使いやすいサイトを目指しています。